

開催日	平成19年 8月30日(木)18:00～20:30
出席者	区民6名・四谷特別出張所地域主査・担当
テーマ	今後の分科会の方向性について
決定事項	・救命救急講習会の実現に向けて計画をたてる。 ・各自が提案したことを、実現に向け具体的に調べ企画案を充実させる。(次回までの宿題とする)
検討事項 意見等	<p>(1)地下鉄工事現場見学会の報告</p> <p>リーダーより7月24日(火)に開催された地下鉄工事現場見学会の報告がされた。</p> <p>報告書 抜粋</p> <p>1)地震の場合は、土の中ですので地上より揺れを感じないそうです。又地下30M程まで基礎が出来ているので、建物が崩れることも考えられないとの事。(阪神大震災後の設計であることを強調されていました)</p> <p>2)台風時の浸水など水害については、出入口のシャッターを下ろし、外部との開口部を遮断することで地下鉄構内への浸水はシャットアウトされ、最初は勢いよく入りますが水圧によりピタッととまるそうです。</p> <p>3)火災については、感知器が作動しそれぞれ消火器が稼働する仕組みになっているとの事。又非常排煙装置も換気装置も完備しているとの事。</p> <p>4)運転中の電車の事故については、係員はいつでも救出・誘導等に出勤できる態勢になっています。またホームからの転落等ではホームに敷設してあるブザーを押すと、送電が止まり電車も止まる仕組みになっているので危険を察知した時はためらわずに押して欲しいとのことでした。</p> <p>5)大規模災害時は、地下鉄構内が帰宅困難者(買い物・観光客)の避難所となることが想定され構内には備蓄倉庫も設計されているそうです。</p> <p>(2)今後の分科会の方向性について、活動案・意見を検討した</p> <p>活動案と意見</p> <p>1、救急救命講習会 + (勉強・講演会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AEDの操作は音声にしたがって誰でもできるが、実際の操作方法を講習してみてもどうか。</li> <li>・できるだけ多くの方に身につけて欲しい。</li> </ul> <p>2、夜間防災訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間、暗闇の中の非難訓練がされてきていない。実施も必要なことではないか。</li> </ul> <p>3、避難所までの安全な経路の確認(実際に町に出て確認する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所までの経路で危険箇所(崩れる危険のあるブロック塀、ビル上の大きな看板等)等を実際に町に出て、再確認をしながら、災害に強いまちづくりを検討する。</li> </ul> <p>4、避難所備蓄品状況の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何が用意されていて、何が自分にとって不足かを確認しておく必要がある。</li> </ul> <p>5、避難所の安全運営についての提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所生活における区割り問題(高齢者、障がい者、乳幼児を抱える家族の優先区割り等)</li> <li>・避難所カードの事前普及・いざ、避難所で記入する時に冷静に記入できないのではないか。</li> </ul> <p>6その他の意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の助け合い、独居老人の情報を知っておくことが大切。=地域のチーム作りに向けて防災面からの声かけ運動を検討したい。</li> <li>・高齢者、障がい者の避難場所への誘導、接し方を調べる。</li> <li>・町の危険箇所をリストアップして、実際に見に行く(平素気づいた場所をリストアップする。)</li> <li>個人宅などではなく、公共的建造物等の指摘にとどめる。</li> <li>・セーフティカード(緊急時連絡方法)の普及 = (仮)四谷の便利帳への掲載を検討</li> </ul>
次回日程	10月3日(水) 18:00～ 四谷特別出張所 会議室